

2016年度（平成28年度）

コース名 地球科学コース

領域名 地球表層科学領域

教員名 戸丸 仁

電子メール tomaru 理 chiba-u.jp

※メール送信の際は、「理」を半角@に変更してください。

(1) 研究論文などのリスト（印刷中を含む）

	著者・発表者等	タイトル	発表雑誌・会合等	巻・号	頁	発行・発表年等	掲載論文のDOI(付与されている場合)
(1)	Nunoura, T., Takaki, Y., Shimamura, S., Kakuta, J., Kazama, H., Hirai, M., Masui, N., <u>Tomaru, H.</u> , Morono, Y., Imachi, H., Inagaki, F., Takai, K.	Variance and potential niche separation of microbial communities in subseafloor sediments off Shimokita Peninsula, Japan.	Environmental Microbiology	18	1889-1906	2016	10.1111/1462-2920.13096
(2)	Kouduka, M., Tanabe, A.S., Yamamoto, S., Yanagawa, K., Nakamura, Y., Akiba, F., <u>Tomaru, H.</u> , Toju, H., Suzuki, Y.	Eukaryotic diversity in late Pleistocene marine sediments around a shallow methane hydrate deposit in the Japan Sea	Geobiology		In press	2017	10.1111/gbi.12233

(2) 卒業研究、大学院修士および博士論文修了指導人数

- ・卒業研究 3名
- ・大学院修士 2名
- ・大学院博士 0名

(3) 教育業績（自己申告、テキストの作成など、授業の工夫など）

・「地球科学入門 II」では知識のつめこみにならないよう、地球科学的な考察力を養えるように小テストでも積極的に論述形式の設問を取り入れた。また、最新の研究事例についても積極的に取り上げた。

・「表層環境化学-1」では講義主体の基礎固めを、「表層環境化学-2」では基礎知識を実際の自然

現象に当てはめて考えるよう、段階的な構成にした。また、実際の測定例（数値）を用いた演習を積極的に取り入れた。

・「地球化学実験」では実際の研究活動に近い内容を取り入れるため、東京大学所有の実習船を使用した調査航海を行い、試料採取・分析を行った。

(4) 国際会議出席と招待リスト

・なし

(5) 新聞や雑誌等で報道された研究成果等（報道媒体，報道年月日，報道内容等）

・なし

(6) 国際並びに国内学会での受賞（賞名，その内容，受賞理由等）

・なし

(7) 国際共同研究（共同研究名，研究内容等）

所属	職種	氏名	共同研究名	研究内容	年度
理学 研究 科	准 教 授	戸丸仁	国際深海科学掘削計画 (International Ocean Discovery Program; IODP)	対馬海盆での掘削 (ULYSSES) のプロポーネントとして申請書を作成	28

(8) 地域・社会と連携した教育・研究活動，学会、国、県などへの協力，など

- ・日本エネルギー学会 平成 27 年度メタンハイドレート開発促進事業「生産手法に関する特許及び海外動向調査」委員会 委員
- ・石油技術協会 炭鉱技術委員会 委員
- ・日本堆積学会 行事委員会 委員（2016 年 12 月まで）、会計委員（2017 年 1 月以降）
- ・千葉芸術文化塾 自然・人間科学コース 講師
- ・鳥取国際メタンハイドレートフォーラム 招待講演

(9) 特許（発明者名，発明の名称，出願日，出願番号，整理番号等）（現時点で公表できるもののみ）

・なし